



はなと通信

たいぶさ

大房岬の近況報告



自然の家を利用してくれた子どもたちからお礼の言葉をたくさんいただきました。

吹き抜ける風がどんどん涼しくなり、いよいよ秋本番ですね。大房岬ではどんぐりの実も落ち始め、いたるところでどんぐり拾いをする子どもたちの姿が見受けられます。

初夏からスタートした宿泊学習のトップシーズンも少しずつ落ち着いてきました。おかげさまでこの夏もたくさんの団体の皆様にご利用いただき、多くの子どもたちが大房岬での自然体験を楽しんでいってくれました。磯場でカニを捕まえて嬉しそうに見せてくれる子、大粒の汗を流しながら一生懸命に火の番をする子、得意げに草笛を鳴らしている子…。子どもたちの「心が動く瞬間」にたくさん出会うことができました。このように毎日子どもたちの姿を見

ていると、この体験の場を守り続けていく責任を強く感じます。

さて、これから秋～冬にかけてトップシーズンは終盤を迎えますが、実は秋冬でも楽しめるアクティビティがたくさんあります。また、冬の特別キャンペーンも（裏表紙参照）実施いたしますので、宿泊学習はもちろん、合宿やサークル活動などにもぜひご利用ください。

所長の目線

この夏も、ここ数年常態化してきた突然の雷雨や長雨には、だいぶ悩まされました。そんな中、ある学校の校長先生にこんな話を伺いました。卒業式前の6年生を送る会で発表された思い出ランキング第1位が、大房岬で突然の土砂降りに翻弄されたカレー作りだったそうです。カレーの野菜を煮込もうと火にかけた途端、突然の大雨でした。

私も子ども達を誘導した後に、先生方と一緒にリヤカーにすべての鍋と飯盒を乗せて避難したのを思い出しました。子ども達は、建物の軒下に急ごしらえしたかまどで再度作り直したカレーライスをワイワイ言いながら食べました。

用意された成功体験ばかり積むよりも、時には突然訪れる困難を克服するという負荷を与えてあげませんか？雨が降ったときこそ外で、知恵を絞って、苦労して火を起こしてカレーを作りませんか？

●休所日情報● 10月～12月の休所日は次の通りです。

10月2日(月) 30日(月) 31日(火) 11月13日(月)
12月4日(月) 5日(火) 11日(月) 29日(金) 30日(土) 31日(日)



★★★★★ イベント報告 ★★★★★

星空ナイトシアター「星の王子さま」

夏の大房岬恒例のこのイベント、今年は雨でしたのでプラネタリウム室にて実施しました。プラネタリウム室ならではの幻想的な雰囲気と星の王子さまの世界を、100名以上のお客様に楽しんでいただきました。また、夏の大三角をはじめ、この季節の代表的な星空の解説も行いました。きっと皆さんこの日の後に、星空を見上げて星や星座、そして星の王子さまを探してくれたことでしょう。来年もお待ちしております！ 花嶋（ばによ）



海と森のミクロワールド

イベント前半は森の土壌生物を捕まえて顕微鏡で観察、後半はウミホタルの生態を学び実際にウミホタルの捕獲を行いました。どちらもただ捕まえるだけでなく、図鑑で種名を調べ、エサの違いで獲れる量は違うのか？など真剣に研究をしてくださいました。普段なかなか目にする機会の少ない生物たちですが、これをきっかけにミクロな世界にも興味をもってもらえたら幸いです。山崎（だいすけ）



お知らせ 冬の特別キャンペーン実施中！

★平成30年度7月、8月、10月の宿泊予約について

「平成30年度夏休み期間（7月16日（月）～8月30日（木））」と「平成30年度10月」の施設利用予約が**10月1日（日）**から始まります。



★1月宿泊スペシャル価格！ 25名様以上のご利用で宿泊料金がお安くなります！

※割引期間：平成30年1月限定

- ・子ども 1,300円 → 800円 ※3歳以上中学生以下
 - ・高校生 2,000円 → 1,500円
 - ・おとな 2,500円 → 2,000円 ※18歳以上
- ※利用には別途食事料金がかかります。 ※青少年教育団体料金です。



★50名以上の宿泊で貸切利用が可能!!（先着順）

※貸切可能期間：平成29年12月1日(金)～平成30年2月28日(水)

貸切でご利用いただくと、他団体の動きを気にせずにプログラムを組み立てることができるので「1日中体育館を使用し、みっちり練習!」といったことも可能です。部活動の冬合宿等にもおススメです！ご宿泊での利用をご検討中の皆さまは、ぜひお早めにご予約ください。

イベント用 facebook ページ開設しました!⇒

「南房総で自然体験

南房総自然体験

facebook ページで

検索

野遊び倶楽部」



【発行元】南房総市大房岬自然の家（所長 神保 清司）

（指定管理者）NPO 法人千葉自然学校

〒299-2404 南房総市富浦町多田良 1212-23

メール: taibusamisaki@chiba-ns.net

電話: 0470-33-4561 FAX: 0470-33-4564

ホームページ: <http://taibusa.jp/>

プログラム紹介★森の生き物発見ツアー★

大房岬は、森や草原、湧水地などあり自然豊かな所です。そんな自然をスタッフと共に歩きます。岬にはたくさんの生き物が棲んでいます。フィールドサイン(生き物のいる証)を探して彼らの暮らしぶりを観察します。これからは実りの秋。森の生き物達にとっても良い季節になります。森へ出かけてみませんか？



さあ、森へ出かけよう！！
どんな発見があるかな？



枝に変身！十十フシモドキ。
丸見えですが・・・



あむっ！？ほじくった跡を発見！！
〇〇がエサを探した跡です。

まだまだ、
フィールドサインは
たくさんあります。
続く...



ごはんのはなし

●○● キノコで秋も健康に ●○●

今回は秋の味覚「キノコ」を紹介します。キノコとひとくちにいてもシメジ・エノキ・ナメコなどたくさんの種類がありますね。安価で買え、ローカロリーでダイエット効果、そしておいしいと良いことだらけの食材です。

でもそれだけではありません。キノコにはたくさんの栄養が含まれています。特にカリウムが豊富に含まれており、これには余分な塩分を体外に排出してくれるデトックス効果があります。また高血圧や心不全にも効果があると言われています。その他美肌や元気作りに欠かせないビタミン類、お通じに良い食物繊維も豊富に含まれています。大房食堂でもキノコを使ったメニューを用意しています。バランスの良い食事でみなさんの健康づくりをサポート出来ればと思います。

山崎（だいすけ）



野遊び日和 秋のトレッキング



房総の山は、標高が低いですが、雄大な景色やのどかな里山風景を楽しめる、バリエーション豊かなコースがたくさんあります。更に、これからの季節は空気が澄み、遠方まで望むことができます。いよいよ房総のトレッキングシーズンが始まります。

オススメは、初心者でも2時間ほどで山頂まで登れる「富山」です。

「南総里見八犬伝」の舞台にもなった場所でもあり、山頂は天気が良ければ富士山を望むこともできます。歩きやすいこれからの時期に、是非南房総の山歩きを楽しんでみてはいかがでしょうか。

白井（ねぎ）



みなみぼうそう 南房総の匠に聴く vol. 21 「宮本養鶏」



代表取締役社長
宮本 充さん

今回は大房岬自然の家の食堂で使用している卵の生産者である「宮本養鶏」宮本社長にお話を聞きました。

「宮本養鶏」はどのような会社ですか

昭和10年に創業し、昭和43年に会社を設立しました。館山市神余（かなまり）というところの山間に鶏舎があり、およそ5万羽の鶏を飼育し、1日2トン（3万個以上）の卵を、地元の企業やスーパーなどに供給しています。戦時中は一度生産ができなくなりましたが、先代の想いから、また養鶏場を営むようになりました。

卵はどのように生産されているのですか

孵化したばかりのヒヨコを仕入れ、自分たちで丁寧に育てています。卵のおいしさは、鶏が健康的でストレスなく育っているかにかかってきます。そのため、温度管理や、エサの質などを徹底しています。停電になるとエサや水、空調、集卵などに支障をきたすので、台風のときなどは泊まり込みで対応します。もちろん、お正月やお盆のときも鶏たちの様子を見に行きます。

また、平成13年、平成22年と2度にわたり千葉県鶏卵品質改善共進会の最高賞農林水産大臣賞を受賞しました。外観（見た目）、内容（中身）の両方を評価されこの賞を頂きました。

自然の家を利用される方へ一言お願いします

安全でおいしい卵の生産を心がけています。卵は検査も行って、おいしいだけでなく安心して子どもさんでも食べることができるものをお届けしています。是非、味わって召し上がってください。

※宮本養鶏さんの卵は、自然の家の食事メニュー「卵スープ」、「スクランブルエッグ」で使用しています。是非ご賞味ください。

詳細についてはお問い合わせください

有限会社 宮本養鶏

電話：0470-22-1203

たいぶさ樹木ずかん

ハリギリ

（ウコギ科ハリギリ属）



樹高10～20mになる落葉高木。芽吹きは葉は山菜として食べることができます。また7～8月に黄緑色の小さい花を多数つけます。

葉はカエデの仲間に見えますが、①幹にトゲがある。②葉が互生（互い違いに生える）などで見分けることができます。秋になるとカエデと同じくらいきれいに黄葉しますのでトゲに気をつけて観察してみてください。

場所：体育館横、自然の家周辺など

スタッフのつぶやき

テーマ「読書の秋！おススメの本は？」
スタッフの意外な一面(?)を紹介します。

あまり読書はしない・・・
強いて言えばアウトドア雑誌。 香山(かやまん)

「大きな木」木の深い愛情に感動します。
白井(ねぎ)

星野道夫著「旅をする木」アラスカの原野と暮らしを綴る最高の一冊です。 神保(ジン)

「3月のライオン」登場人物の心情が痛いほど伝わってきて、笑いあり涙あり。 花嶋(ぼによ)

オタクでない僕のおススメ漫画は、「四月は君の嘘」、「彼女お借りします」、「ボールルームへようこそ」です。 松田(料理長)

「居酒屋ぼったくり」そこに出てくるお酒とつまみが食欲中枢を刺激します。 山崎(だいすけ)